学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代世界を読む	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ちくま評論選（筑摩書房），読解評論文キーワード改訂版（筑摩書房），過程の演習 新国語問題集 第 56 集 現代文編（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テスト、国公立二次をはじめ、大学入試で出題される文章には、受験する学部に拘わらず現代社会を生きる世界「市民」としての私たちに読んでおいてほしいものが選び抜かれている。この授業では、これまでに大学入試で出題された文章に加え、世界の「今」を知り、世界と私についての考えを深められるような数々の評論を通して、国公立二次に対応できる記述力と深い思考力を身に付けてもらいたい。学習においては、記述問題を解く際に考えた過程や、わからなかったこと、新たに知ったこと、読解や各設問への解答に費やした時間について積極的にメモをしておくのをおすすめする。とくに記述問題については、解答そのものよりも、どういったプロセスで回答を作成したのかを具に記録し、後で振り返ることができるようにしておくことが、記述力錬成に重要である。

2　学習の到達目標

深く、様々なテーマの評論文に触れ、要約や読解の演習を通して論理的思考力や読解力を養う。また、近代やポストモダンについて扱った評論を読み、その思潮を理解しつつ、現代社会が置かれた状況とその課題について理解を深める。

(1)　国語の知識や技能を身に付け、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2)　論理的思考力や想像力を育成し、自分の考えを的確に表現できるようにする。

(3)　生涯にわたって読書に親しみ、我が国の独自性に立脚しつつ、グローバルな社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多くの評論文を読み解くなかで、言語や文化、社会や歴史等の様々な問題について論じた文章に触れることで、多くの考え方を知るとともに、様々な論の構成や展開、その読解についての理解を深める。	要約や読解の演習を通して、読み取った内容に対して自ら深く考え、的確に理解してまとめ、正確な言葉で表現する力を養う。	近代化やポストモダンの文化・社会経済・環境等に関して論じた文章に触れるなかで、現代社会が置かれた状況とその課題について理解を深め、これからの世界を生きていく世代として当事者意識を持ち、自ら考え、表現する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代人が置かれている状況や、世界の相貌を描いた文章を読み、「私」の置かれた状況に、しっかりと目を据える。 ［教材］ 「キャラ化」する若者たち ディズニーランド	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	現代社会を鋭く捉えた文章や、現代社会について考える方法について書かれた文章を読み、世界を把握する知の在り方や、視点の持ち方について学ぶ。 ［教材］ 贈与のモラル 二一世紀の世界像	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	近代科学の源流を辿ったり、歴史を問い直したりするような文章を読み、「過去」と「現在」を往還して考える力を身につける。 ［教材］ BERLIN1888 確認されない死のなかで	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
後期	言葉と人間のかかわりについて論じた文章を読み、ことばの本質について考える力を身につける。	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあ	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	［教材］ 記号としての身体 「安楽」への全体主義	らためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
	生命体としての人間の「生」と「死」をじっくりと見つめなおした評論を読み、現代と未来の人間社会の在り方について考える。 ［教材］ コモリン岬 棗椰子の木陰の文学	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間